

清水 晋作 (SHIMIZU Shinsaku)

1975 年生まれ。専攻は、理論社会学、社会学史、知識社会学、エスニシティ論。専門研究員。

ニューヨークのユダヤ系社会学者 (R・K・マートン、D・ベル、N・グレイザー、P・セルズニック、L・コーザー) の理論、学説史研究。特にアメリカ社会に対するユダヤ文化の影響、彼らの知的ネットワークの形成過程を研究している。

主要業績

論文

- ・ 2006, 「ダニエル・ベル「資本主義の文化的矛盾」論と現代アメリカ社会 パーソンズ社会学との比較を通して」『社会学史研究』 28:57-72.
- ・ 2002, 「ダニエル・ベルと合州国の民主主義 マッカ - シズム論をてがかりとして」『社会学研究』 70:101-126.
- ・ 2001, 「ダニエル・ベルのアメリカ社会主義批判」『社会学年報』 30:149-172.
- ・ 2001, 「第二次大戦期におけるダニエル・ベルの戦時体制分析」『社会学研究』 69:1-24.

共著

- ・ 2004, 早坂裕子・広井良典編著『みらいを拓く社会学 看護・福祉を学ぶ人のために』ミネルヴァ書房。(「第3章 社会と集団 現代社会におけるエスニック集団と専門職集団」を担当)

リンク

研究カテゴリ